







アグリワークポイント

商品名	使用時期	効果
 カチボシ粒剤51 1キログラム	田植時～ ヒエ2.5葉期	土壌吸着効果によるヒエ長期残効で高い効果。白化剤とSU剤によって難防除雑草にも高い効果
 パワーウルフ 1キログラム	田植時～ ヒエ2.5葉期	特にホタルイに高い効果。安価で非常に高いコストパフォーマンス
 ガンガンジャンボ 250g (10パック)	田植後3日後～ ヒエ2.5葉期まで	低コストな投込式の省力型初中期一発除草剤。2成分で高い効果
 銀河ジャンボ 400g (10パック)	田植5日後～ ヒエ3葉期まで	ヒエ長期残効効果、新規SU剤で抵抗性雑草にも高い効果。クログワイ塊茎形成抑制する省力型初中期一発除草剤
 クリンチャーバス ME液剤 500ml	田植15日後～ ヒエ5葉期まで	前処理での取りこぼしや後発生の雑草防除に使用する中後期除草剤。多年生雑草、SU抵抗性の雑草にも高い効果
 トドメMF 乳剤 200ml	田植14日後～ ヒエ7葉期まで	高葉齢のノビエに高い効果。パサグラン液剤との混用で、広葉雑草も同時対処可能

※農薬のラベルを必ず確認し適正に使用してください。

①体系処理
代かき時に、サキドリEWまたは、エリジャンジャンボを使用した場合は、田植後15日頃にアクシズMX粒剤または、テッケンジャンボを散布します。

②初・中期剤
・粒剤散布
機械散布や散粒機、手まきに対応し、水深は3～5cmを目安に施用します。田植後、イネキング粒剤かカチボシ粒剤または、パワーウルフ粒剤を散布します。
・ジャンボ剤
畦畔から投げ込むだけの省力的な除草剤で、水深は5～7cmを目安に施用します。ガンガンジャンボは田植後3日後以降に、銀河ジャンボは田植後5日後以降に散布します。

③後期剤
ノビエ5葉期まで効果のあるクリンチャーバスME液剤または、7葉期まで効果のある新剤のトドメMF乳剤を中干し期に散布します。散布後の晴天が続く日を選んで散布すると取りこぼしのヒエや多年生雑草に効果があります。

除草剤

田植直後はやや深水にし、風いたみ等を防ぎます。水が澄んだら、ジャンボタニシ対策でスクミノンを2～4kg/10a施用します。翌日からは活着を良くし、茎数の増加を助けるため、基本的に浅水で管理します。除草剤は、深水にしてから施用し、7日間は止め水管理とします。ただし、瀬が出てしまいうなら水を入れましょう。田植後2～3週間後に、半日～1日水を落としてガス抜きを行い、健全な根を増やします。ガスの発生が多い水田は、ガス抜きを繰り返しましょう。

水管理

